EARTH MAN®

静音タイプ オイルレスエアーコンプレッサー 22L

型式: ACP-22A

取扱説明書

LINE登録で便利な機能が使える!

・スマートフォンで取扱説明書が読める
・使い方の動画が見れる
・商品の詳細が確認できる

LINE登録はコチラ!

髙儀LINE公式アカウント @974jipyk

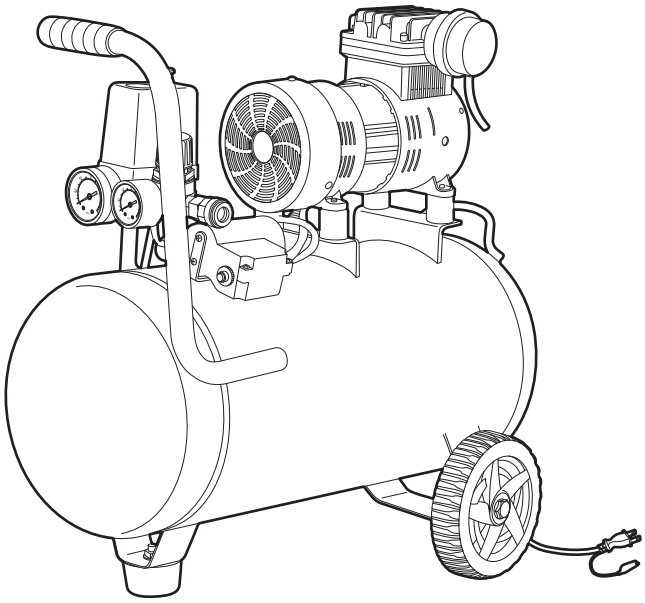
重要項目

この取扱説明書には下記のマークをつけています。

⚠ 危険	重大な事故になります。
⚠ 警告	重大な事故の原因となります。
⚠ 注意	けがや器具損傷の原因となります。
!	特に読んでいただきたい内容

※第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。

ご使用前に本紙最終ページ「保証規定」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。また取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。



安全上のお知らせ

- 本製品は重量物です。取扱いには十分に注意してください。また、上に乗ったり重量物を乗せたりしないでください。
- タンク内に圧縮空気が充填されたまま長時間直射日光に当てたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 使用時及び使用直後は、本体(モーター・シリンダーヘッド・配管部周辺等)が高温となっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。
- 本製品は業務用空圧設備などに接続して使用しないでください。また、モーターを連続運転するような使い方はしないでください。

- 各種エアーツールのエアー源に
- タイヤなどの空気入れに
- エアーダスターを使用した吹き飛ばし作業に

株式會社 髙儀

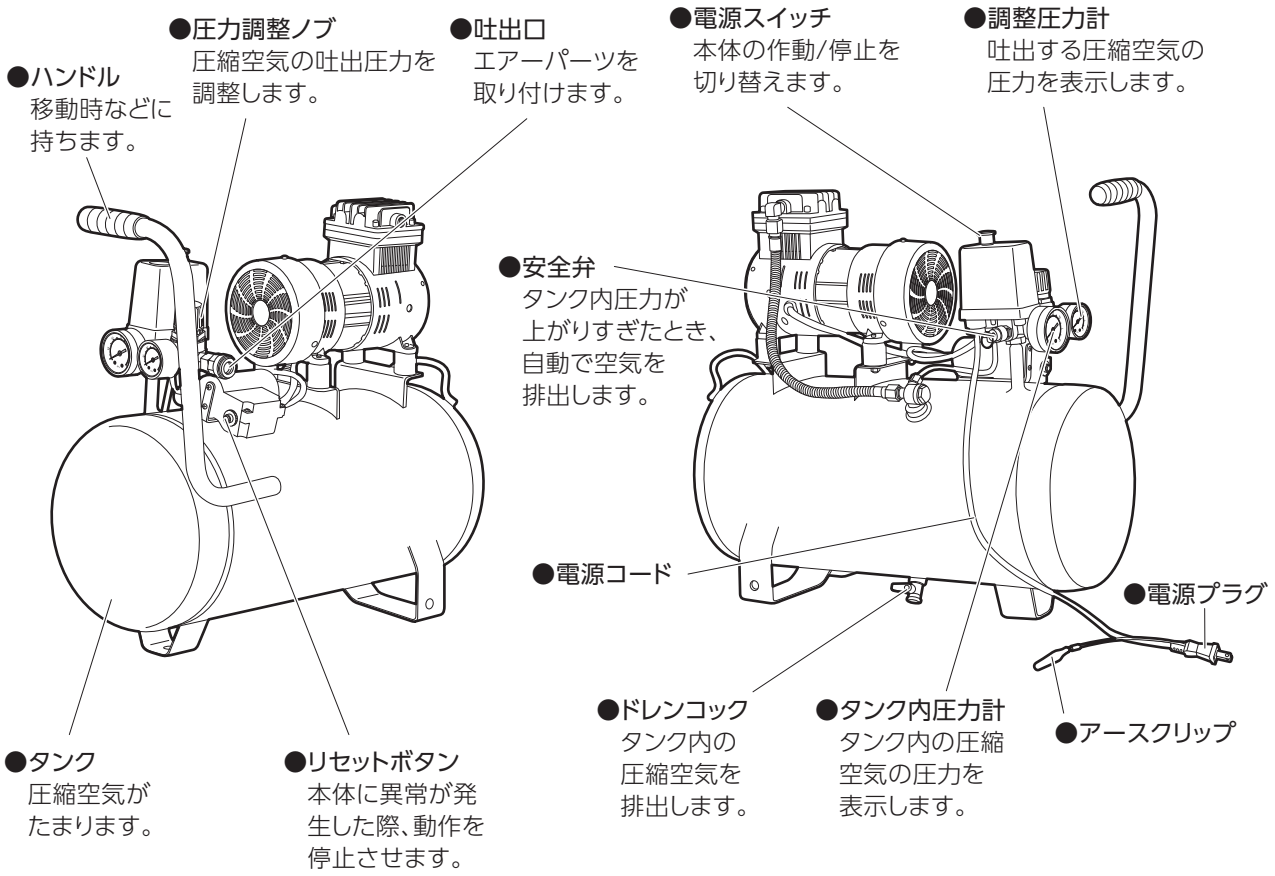
用　途

タイヤなどの空気入れ、エアダスターを使用した吹き飛ばし作業、各種エアーツールを使用するDIY作業のエアー源に使うことができます。また、本製品はオイルレス設計のためメンテナンスも簡単に行うことができます。

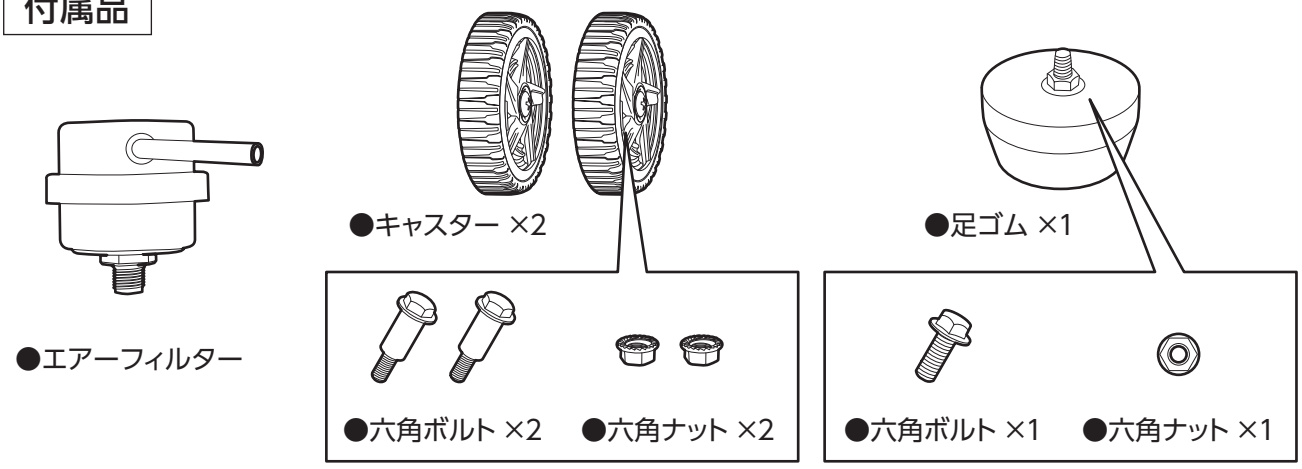
※ご使用開始前やお手入れ等の際にはこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

各部の名称・セット内容

本　体

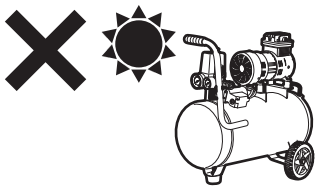


付属品



⚠ **危険** 重大な事故になります。

●タンク内に圧縮空気が充填されたまま、長時間直射日光に当てたり、高温になる場所に放置しないこと。



⚠ **警告** 重大な事故の原因となります。

●必ずアース（接地）すること。

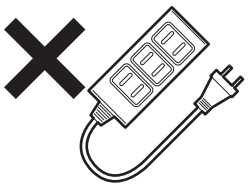
●エアーホース・エアーツールの脱着は、タンク内に圧縮空気が充填されていない状態、又は吐出圧力がかかっていない状態で行うこと。

●タンク内の圧縮空気は絶対に人間及び動物の吸入用としては使用しないこと。

●接続するエアーホース・エアーツールは必ず使用圧力の範囲内で使用すること。

⚠ **注意** けがや器具損傷の原因となります。

●電圧降下による動作不良や故障、ブレーカーが落ちる原因となるため、延長コードを使用しないこと。



●圧縮空気には水分・タンク内のさび・鉄粉等が混入する場合があるため、特に塗装作業時にはエアーフィルターなど市販の水分除去装置を必ず取り付けること。

●足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないこと。

●エアーツールを装着したまま放置しないこと。

●定格時間を超える長時間の連続使用はしないこと。

電源コード・電源プラグについて

●家庭用 AC100V 50／60Hzを使用すること。

●発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源では使用しないこと。

●使用前に必ず電源コード・電源プラグを点検すること。無理に引っ張ったり挟んだりしないこと。また、コードを高熱の物・油や角のとがった場所に近づけないこと。

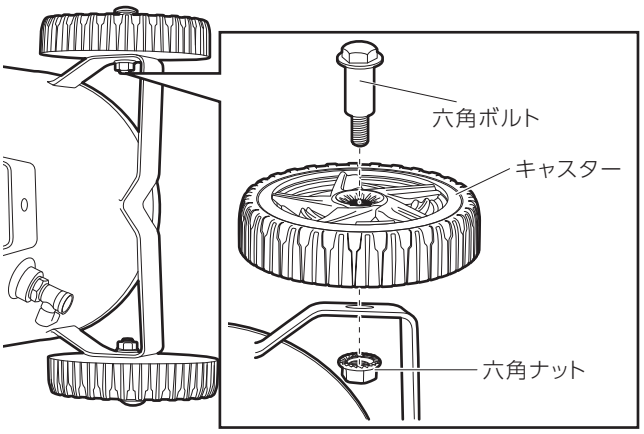
●コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差しすること。

使用前の準備

●本製品は重量物のため付属品の取付け時は手や身体を挟まないよう注意してください。
●キャスター・足ゴムの取付け時は必ず下にダンボールなどを敷き、本製品を倒した状態で行ってください。
●スパナなどが2つ必要です。セット内容に含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。

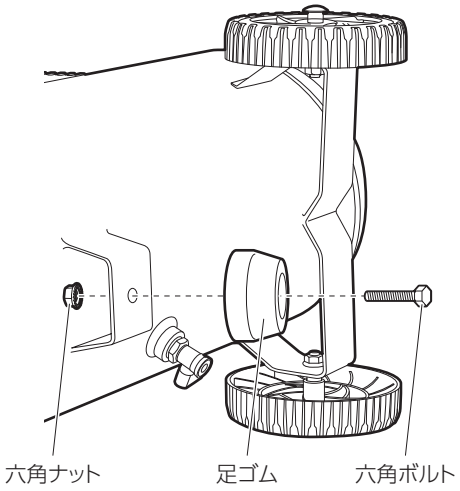
キャスターについて

●キャスターを図のように取り付けて六角ナットをスパナなどで固定し、六角ボルトをもう一方のスパナなどでしっかりと締め付けてください。(2か所)
キャスターの動きが悪い場合は六角ボルトを少しゆるめて動きを調整してください。



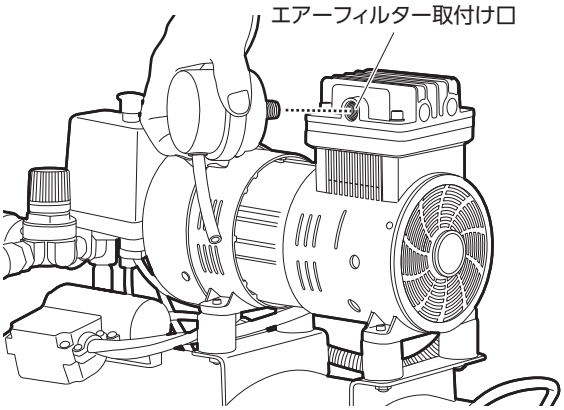
足ゴムについて

●足ゴムを図のように取り付けて六角ボルトをスパナなどで固定し、六角ナットをもう一方のスパナなどでしっかりと締め付けてください。



エアーフィルターについて

●本体のエアーフィルター取付け口に付属のエアーフィルターを回して取り付けてください。このとき、ごみなどが入らないようエアーフィルターにある吸気穴(チューブ先端)を下に向けてください。

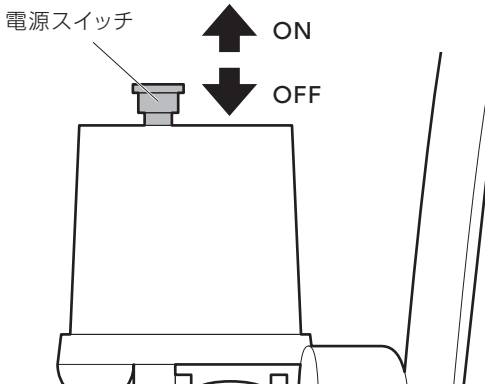


チューブは吸気音の抑制用です。チューブを取り外した状態で使用しても実用上に支障はありません。紛失した場合もそのまま使用できます。

操作方法

電源スイッチ

●電源スイッチを引き上げると電源が入り、押し下げると電源が切れます。



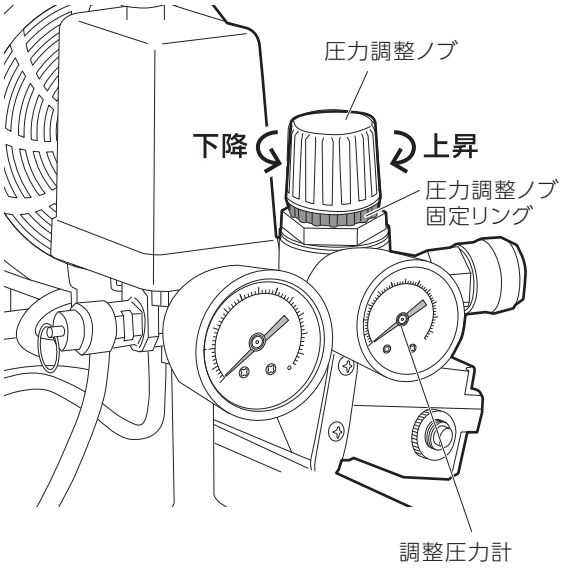
POINT! 電源スイッチが固い場合は、電源スイッチを回しながら引いてください。

圧力調整ノブ

●吐出口から出る圧縮空気の圧力を調整することができます。圧力調整ノブを回して、調整圧力計で確認しながら用途に応じた適正な圧力に調整してください。

時計回り：圧力が上昇します。
反時計回り: 圧力が降下します。

●圧力調整ノブ固定リングを回して、圧力調整ノブの位置を固定することができます。

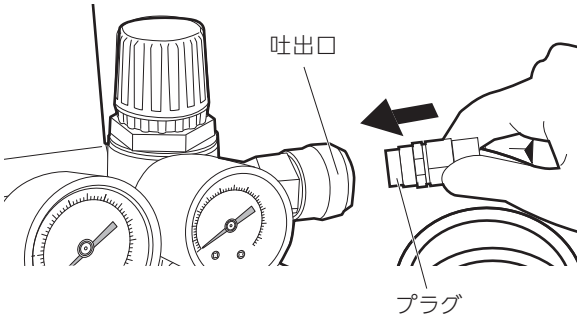


!	圧力調整機能の特性上、必ず使用圧力より低い圧力からゆっくり圧力を上げて調整してください。高い圧力から設定すると調整圧力計の表示と使用圧力に誤差が生じます。

エアーパーツについて

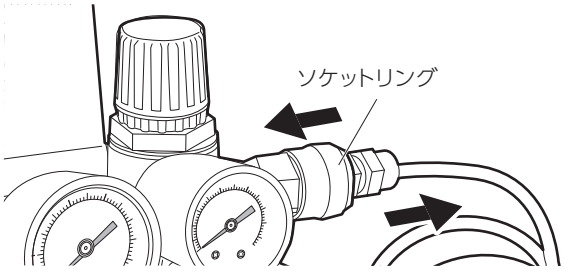
●取付け

エアーパーツに付いているプラグを吐出口に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



●取り外し

吐出口のソケットリングを引くとエアーパーツのプラグが外れます。

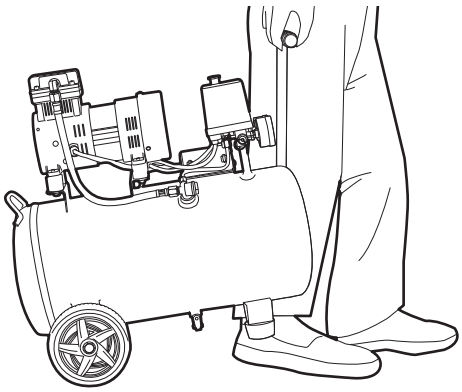


⚠ 注 意

タンク内に圧縮空気が充填された状態でエアーパーツの取付け・取り外しをするときは必ず圧力調整ノブで調整圧力計の数値を0MPaにしてください。

運搬方法

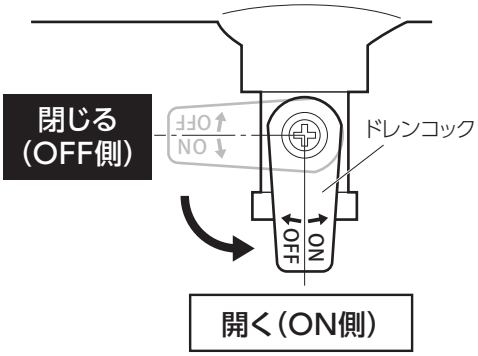
●キャスターで移動するときは、ハンドルを少し持ち上げると移動できます。



!	重みで反対側に倒れないよう、高く持ち上げすぎないよう注意してください。

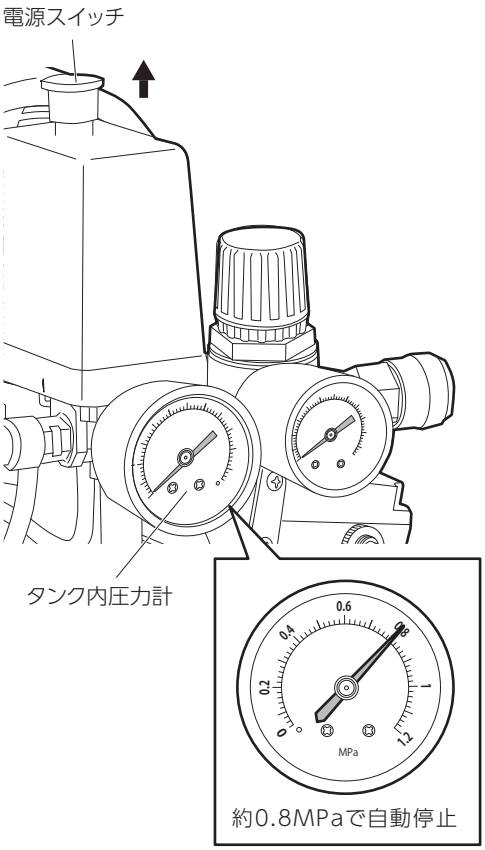
試運転

1. ドレンコックを「開く」方向に回します。



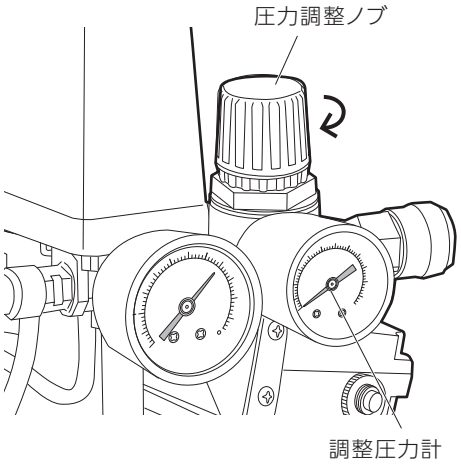
2. 電源スイッチが切れていることを確認してアースクリップを接地し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

3. 電源スイッチを引き上げて、本体を作動させてください。本体が作動すると開いたドレンコックから空気が排出され始めます。空気が出ていることを確認したら、ドレンコックを「閉じる」方向に回してください。



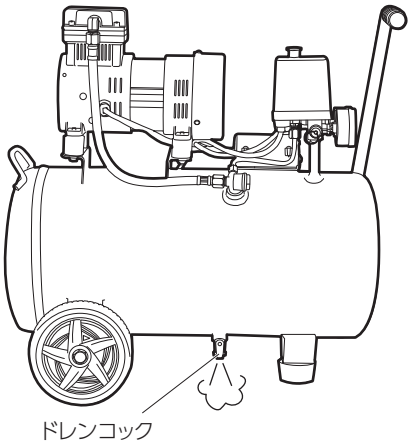
4. ドレンコックを閉じると空気が排出されずにタンク内の圧力が高まり始めます。タンク内圧力計で圧力が上昇しているか確認してください。約0.8MPaになるとモーターが自動で停止します。

5. 圧力調整ノブを時計回りに最大まで回転させてください。これにより吐出できる圧縮空気の最高圧力が上昇します。調整圧力計で吐出圧が上昇しているか確認してください。



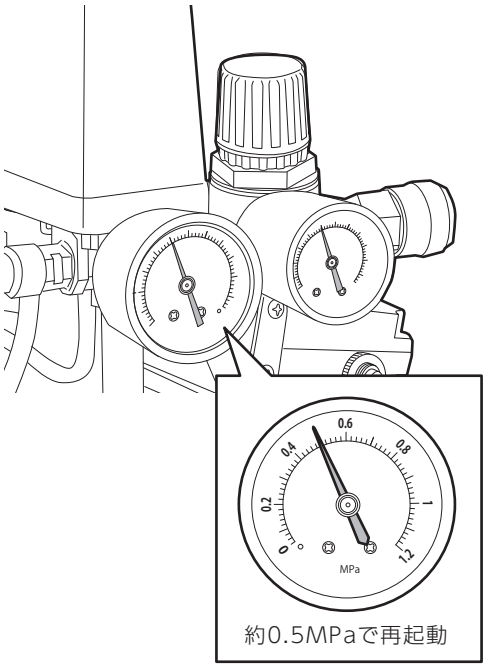
> **⚠ 注意**
>
> 本製品の最高吐出圧力の適正値は0.8MPaです。圧力調整ノブを時計回りに最大に回したときに調整圧力計の針が0.8MPaから大きく外れていた場合、P9 使用最高圧力の調整 を参照して調整してください。

6. 5分ほど放置してください。
各部からエアー漏れなど異常がないことを確認したら、ドレンコックを少しゆるめて圧縮空気を徐々に排出してください。



7. タンク内圧力が約0.5MPaに下がると、自動停止していたモーターが再起動します。

8. 異常がなければ一旦電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いた後、ドレンコックから圧縮空気を全て排出してください。



> **⚠ 注意**
>
> 点検・確認で異常があった場合は直ちにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、タンク内の圧縮空気を全てドレンコックより排出して使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。又は（株）髙儀「お客様相談窓口」（ホームページ含む）に相談してください。

作業方法

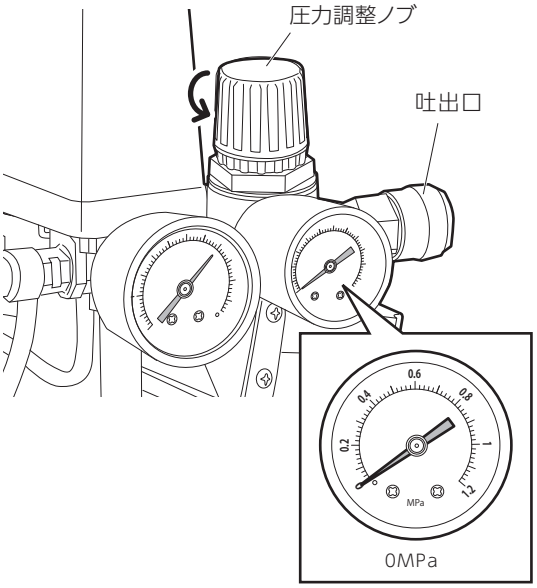
⚠ 注意

- ●使用するエアーツールは絶対人に向けたり、顔を近づけないでください。
- ●接続する前にエアーツールのプラグがエアーツールと完全に固定されていることを確認してください。完全に固定されていないと使用中に外れるおそれがあります。
- ●本製品に接続するエアーホース・エアーツールは必ず使用圧力の範囲内で使用してください。
- ●エアーツールのプラグを本製品の吐出口に接続するときは必ず調整圧力計の数値を0MPaにしてください。
- ●使用する前に必ず試運転を行ってください。
- ●使用時・使用直後は本製品の金属部が高温となる場合がありますのでやけどに注意してください。

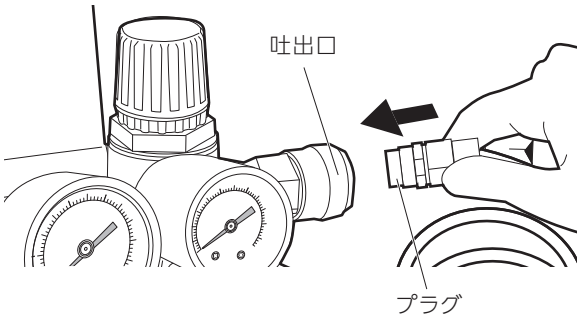
! 右記の装備・使用環境で作業してください。	●電源プラグをコンセントに差し込む前に本製品のスイッチが切れていることを確認してからアースクリップを接地する。 ●電圧降下により本製品の動作不良や故障、建物のブレーカーが落ちる原因となるため延長コードは使用しない。離れた場所で作業する場合はエアーホースの長さで対応する。 ●法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用する。 ●作業に適した服装（すそじまりの良い長袖・長ズボン）で作業する。 ●使用時はお子様や作業者以外を近づけない。 ●濡れた場所や湿気の多い場所・雨中・塩害を受ける場所では使用しない。 ●作業場所は整理・整頓し、作業の妨げになる物は取り除く。

1. P5 試運転 の**1**～**4**の手順でタンクに圧縮空気を充填してください。約0.8MPaになるとモーターが自動で停止します。

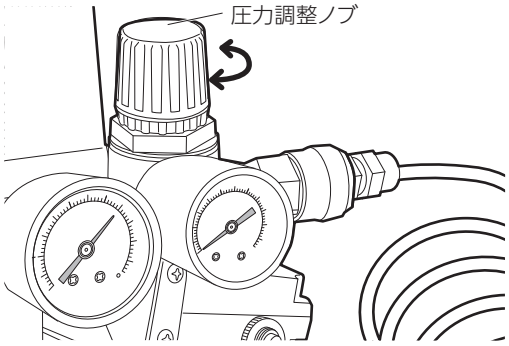
2. 調整圧力計の数値が0MPaになるまで圧力調整ノブを反時計回りに回します。



3. 使用するエアーツールのプラグを本製品の吐出口に接続してください。



4.使用するエアーツールの使用圧力に吐出圧力を合わせてください。吐出圧力は圧力調整ノブで調整してください。



5.接続したエアーツールで作業を開始できます。

リセットボタンについて

●本製品は電圧降下が起きたときや、コンプレッサー本体に故障や破損等の不具合があった場合、焼損防止のためにリセットボタンが作動して運転を停止します。

リセットボタンが作動した場合は、電源スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜いてから、タンク内の圧縮空気を全てドレンコックより排出し、以下の項目を確認して原因を取り除いてください。

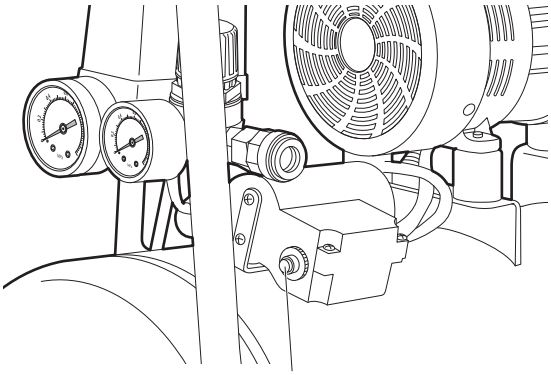
●リセットボタンが作動する主な原因

・延長コードを使用している。
・同一のコンセントで他の電動工具及び電気製品を使用している。
・通気孔付近に物がある。又は通気孔を布などで覆っている。
・15A単独コンセントから直接電源を取っていない。

1.原因を取り除いた後、本製品を熱のこもらない場所で十分に冷ましてください。

2.冷めたことを確認してリセットボタンを押してください。

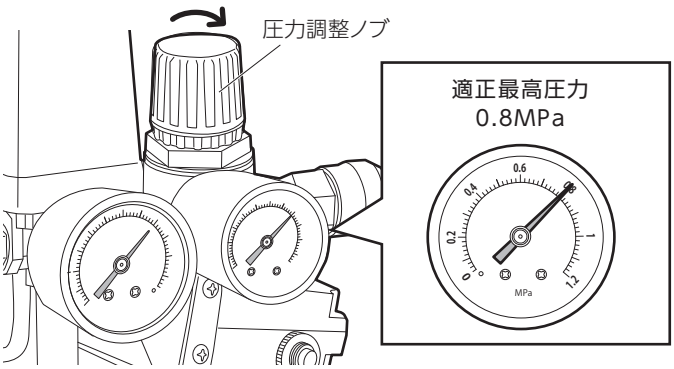
3.電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れてください。



上記手順で復旧作業を行っても起動しない場合や、すぐにリセットボタンが作動してしまう場合には、本体の故障が考えられます。その場合は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてからタンク内の圧縮空気を全てドレンコックより排出して使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申し付けください。又は（株）髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

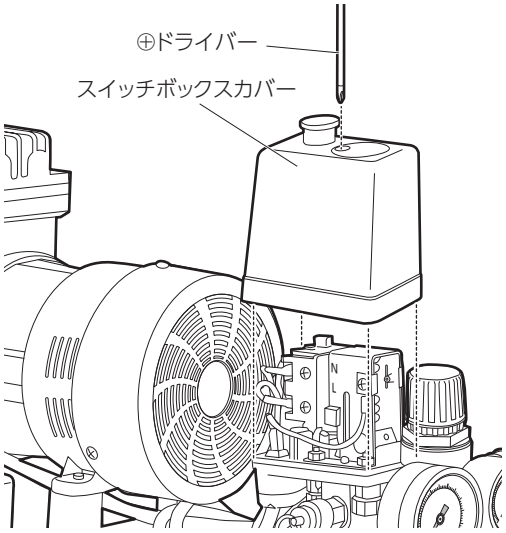
使用最高圧力の調整

●本製品の最高吐出圧力の適正値は0.8MPaです。
P5 試運転 の**1**～**4**の手順でタンクに圧縮空気を充填した状態で圧力調整ノブを時計回りに最大に回したとき、調整圧力計の針が0.8MPaから大きく外れていた場合は下記の方法で調整してください。

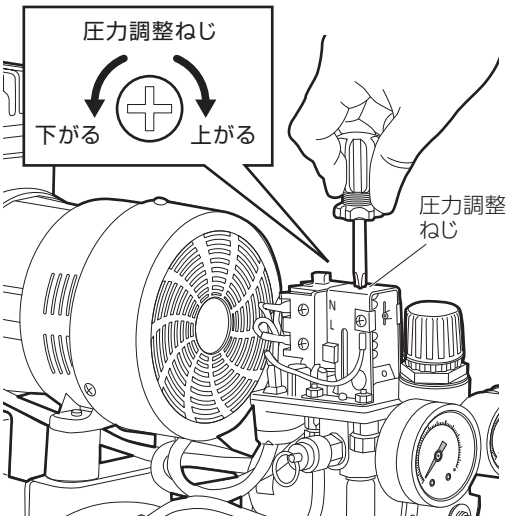


1.⊕ドライバーでスイッチボックスのカバーのねじを外します。

!	圧力の調整には⊕ドライバーが必要です。セット内容には含まれておりませんので、お手持ちの物を用意してください。



2.圧力調整ねじを⊕ドライバーで半回転させます。



3.確認のため、空気の充填をしてください。

!	空気を充填するときは、感電防止のために必ずスイッチボックスのカバーを取り付けてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

4.使用最高圧力が0.8MPaになるまで上記手順を繰り返してください。

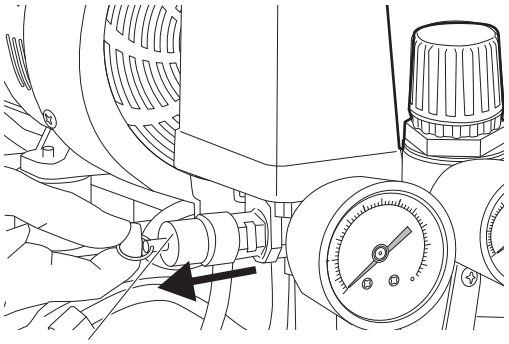
お手入れと保管

●お手入れのときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
●各部取付けねじにゆるみがないか定期的に点検し、ゆるんでいるねじがあればしっかりと締め直してください。
●汚れの著しい場合は、ブラシで汚れを取り除き、水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
●直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。
●ご自身で分解・改造・修理をしないでください。

本体について

●安全弁

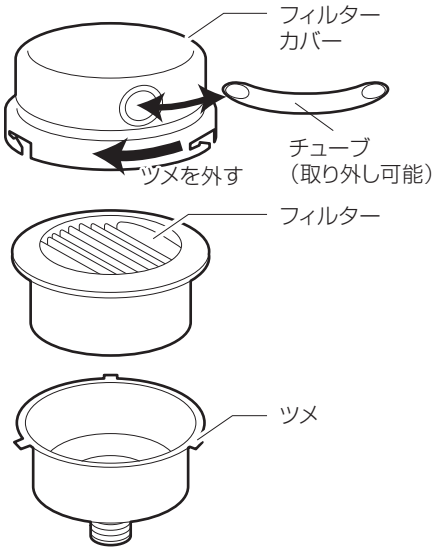
タンク内に圧縮空気が充填されている状態で、安全弁に取り付けられているリングを引くとタンク内の圧縮空気が吹き出します。定期的に作動するか確認してください。



安全弁

●エアーフィルター

フィルターの汚れや詰まりは動作不良の原因になるため、定期的に清掃してください。
フィルターはフィルターカバーを図の矢印の方向に回転させてツメを外し、取り出してください。
ツメの固定が固いときは無理に回さずお手持ちのペンチなどでツメを起こし、固定をゆるめてから回してください。



!	フィルターは水洗いできません。目詰まりがひどいときはエアーダスターなどでごみを吹き飛ばすか、新しいフィルターと交換してください。交換用のフィルターはお買上げの販売店又は（株）髙儀「お客様相談窓口」（ホームページ含む）にて注文してください。

●ピストン

本体内部のピストンは消耗品です。
目安として約200時間程度の実働で充填時間が長くなったと感じたら、本体内部消耗部品（ピストンなど）の交換時期です。そのときはお買上げの販売店又は（株）髙儀「お客様相談窓口」（ホームページ含む）に修理をお申しつけください。

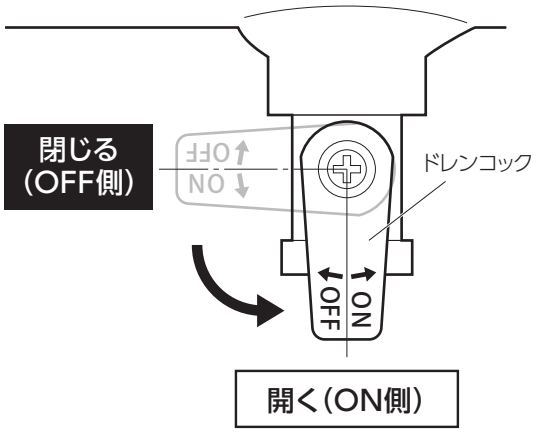
!	時間はあくまで目安です。作動環境によっては交換時期がより早まる場合がございます。

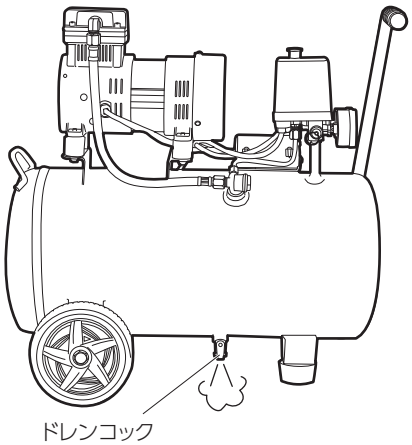
作業後のお手入れ

1. 電源スイッチが切られていること・電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認してください。

2. ドレンコックを徐々に「開く」方向に回してタンク内の圧縮空気を全て排出してください。

3. タンク内圧力計が「0MPa」を指していることを確認してから、ドレンコックを最大まで開いてタンク内にたまった水などを全て排出し、ドレンコックを「閉じる」方向に回してください。





長期間保管する場合はドレンコックを開いた状態で電源スイッチを入れ、5分以上運転させてタンク内を乾燥させてください。その後、ドレンコックを閉じてから保管してください。

ドレンコックの戻し忘れに注意してください。

故障かな?と思ったら

■ 状態	■ 原因	■ 対処法
モーターが作動しない。	! 本製品はタンク内圧力が上がると自動的に運転を停止し、タンク内圧力が低下すると自動的に再起動するよう設計されております。 タンク内圧力が0.5MPa以上でモーターが作動しない場合は故障ではありません。タンク内圧力が0.5MPa以下に下がった場合、自動的にモーターが作動します。	
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	リセットボタンが働いている	電圧降下などの理由によりリセットボタンが作動していませんか?P8 リセットボタンについて を参照してください。
	モーター保護機能が働いている	本製品はモーターが高温になった場合、焼損防止のため自動的に運転を停止するモーター保護機能が設計されております。 一度モーター保護機能が作動するとしばらく運転できなくなるため、スイッチを切ってください。温度が下がると通電するようになりますので、点検して異常が見あたらなければスイッチを入れ再始動してください。
安全弁が作動する。	タンク内に水がたまっている	P11 作業後のお手入れ を参照し、タンク内を乾燥させてから再始動してください。
	使用最高圧力の設定が適切でない	使用最高圧力の設定が安全弁の設定圧力0.88MPaより高くなっている場合、P9 使用最高圧力の調整 を参照して圧力の設定を適切な値に調整してください。
	安全弁の故障	使用最高圧力の設定を適切にしても設定圧力以下で安全弁が作動する場合は、安全弁の故障が考えられます。直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてからタンク内の圧縮空気全てをドレンコックより排出して使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

■ 状態	■ 原因	■ 対処法
空気が漏れる。	ドレンコックが完全に閉じていない	ドレンコックを「閉じる」方向にしっかりと回してください。
	安全弁からの漏れ	安全弁のリングを一度引いてから自動的に戻るか確認してください。 戻らない場合は故障のおそれがあります。お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
	接続部からの漏れ	接続部をしっかり締めつけ、接続を確認してください。
	ピストンなど本体内部消耗品の摩耗	目安として約200時間程度の実働で充填時間が長くなったと感じたら、ピストンなど本体内部消耗部品の交換時期です。そのときは、お買上げの販売店又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に点検・交換・修理をお申しつけください。 ※時間はあくまで目安です。作動環境によっては交換時期がより早まる場合がございます。
空気の充填に時間がかかりすぎる。	エアーフィルターの汚れ	エアーフィルターは定期的に点検し、汚れ・つまりがないようにしてください。
	空気の漏れ	各部から空気の漏れがないか確認してください。
	電圧降下	P8 リセットボタンについて を参照し、原因を取り除いてください。
	ピストン・ベアリング等本体内部消耗品の摩耗	目安として約200時間程度の実働で充填時間が長くなったと感じたら、ピストン・ベアリング等本体内部消耗部品の交換時期です。そのときは、お買上げの販売店又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に点検・交換・修理をお申しつけください。 ※時間はあくまで目安です。作動環境によっては交換時期がより早まる場合がございます。
本体金属部に触れるとビリビリする。	漏電している	感電のおそれがあります。直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

いずれの場合にもあてはまらないときはご自分で修理せず、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。
又は(株)髙儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

仕　様

品名	EARTH MAN　静音タイプオイルレスエアーコンプレッサー 22L
型式	ACP-22A
JANコード	4907052 380073
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格電流	50Hz:5.2A　60Hz:4.7A
定格消費電力	50Hz:440W　60Hz:460W
吐出量(0MPa時)	50Hz:約87L/min　60Hz:約105L/min
吐出量(0.6MPa時)	50Hz:約40L/min　60Hz:約43L/min
吐出量(最高圧力時)	50Hz:約33L/min　60Hz:約38L/min
使用最高圧力	約0.8MPa(8.2kgf/㎠)
安全弁設定圧力	約0.88MPa(9.0kgf/㎠)
リリース起動圧力	約0.5MPa(5.1kgf/㎠)
吐出圧力設定範囲	約0～0.8MPa(0～8.2kgf/㎠)
充填時間	50Hz:約5分　60Hz:約4.5分
接続(吐出)口	ワンタッチソケット1/4
タンク容量	約22L
騒音値	約70dB/m
本体サイズ	約長さ550×幅330×高さ555(mm)
コード長	約1.8m
質量	約15.1kg
定格時間	30分
使用環境温度	0～40℃
原産国	中国
期待寿命	5年

※本製品は連続吐出運転はできません。空圧作動設備と接続するような連続吐出運転はできません。破損の原因となります。
※0.1MPa≒1.02kgf/㎠
※充填時間はあくまでも目安です。環境状況や使用年数等で変化します。

期待寿命とは取扱説明書に基づき正しく使用した場合に使用可能と推測される期間です。
ご購入から期待寿命を超えて使用する場合は、安全を確保するために販売店もしくは当社で保守点検をお勧めします。(有償)

●当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

保証規定

●この保証規定は本体についての内容です。
●この保証規定は国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

●本製品の無償保証期間はお買上げ日より6か月間です。
●保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、無償で修理致します。
●販売店・お買上げ年月日を証明できる物が保管されていない場合、保証期間内であっても有償見積となります。必ずご確認ください。

●保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書と販売店・お買上げ年月日を証明できる物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。
販売店に持ち込めない場合は、(株)髙儀ホームページ内の「製品サポート」より修理をご依頼ください。

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
2. 保証期間内でも次の場合は有償となります。
●取扱説明書に従わない使用及び使用者ご自身での修理・分解・改造による故障及び損傷。
●外部要因に起因する故障及び損傷。
例:輸送中・移動中・落下等
●火災・地震・水害・落雷・その他の災害・異常電圧による故障及び損傷。
3. 付属品・消耗品には適用されません。
4. この保証規定は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
5. 保証規定は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合せください。
●修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
●ご自身で分解・改造・修理をしないでください。

輸入発売元 株式會社 髙儀

株式会社 髙儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページからお問い合せください。

TEL 0258-66-1233
受付時間 AM9:00～PM5:00(土日及び弊社休日を除く)

ホームページ:
http://www.takagi-plc.co.jp/

ホームページはコチラ

■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。